

5. 将来ビジョンの内容

添田町直売所元気づくり地域協議会 将来ビジョン

1. 目標とする将来像

英彦山麓の自然の恵みや、都市住民とのふれあいによる魅力あふれる農業地域の創出

2. 施策の方向性及び具体的取り組み

柱	項目	施策の方向性			具体的な取り組み			
		内容	現状	目標	施策内容	具体的な実施内容と直売所の役割	直売所の機能	予算の確保
【農林業を守る】 農林業の効率的かつ継続的な体制の整備に関する事	新規就農者等の育成	新規就農者(後継者)数	0人	(5年後)2人	就農希望者への支援 地域での営農希望者に対し補助金支援を実施 ターゲット: 就農希望者 直売所の役割: HPによる情報発信	⑤	就農支援推進事業(町単独事業) 窓口機関: 添田町(農業振興係)	
	農林作業のサポート	集荷参加者数	7人	20人	女性農業者への支援 ターゲット: 農業に興味のある女性 直売所の役割: HPによる情報発信	⑤	女性農業体験事業(町単独事業) 窓口機関: 添田町(農業振興係)	
【農林業者の所得や雇用を増やす】 農林業を中心とした地域産業による所得や雇用を増やす施策に関する事	農林産物の販路開拓	出張販売の売上げ高	192万円/年	400万円/年	シニア農業者への支援 シニアを対象とした農業技術講習会を実施 ターゲット: 農業に興味のあるシニア 直売所の役割: HPによる情報発信	⑤	シニア向け農業技術講習会(町単独事業) 窓口機関: 添田町(農業振興係)	
	農林産物の付加価値創出	新たな農産物生産量	0.5t/年	5t/年	林業従事者への支援 林業従事者等に対し補助金支援を実施 ターゲット: 林業・木材産業希望者 直売所の役割: HPによる情報発信	⑤	林業・木材産業人材育成支援事業(町単独事業) 窓口機関: 添田町(林業振興係)	
	その他(具体的に)	直売所の知名度	18%	30%	大都市圏での出張販売 大都市圏での定期的な出張販売を実施 ターゲット: 北九州市、福岡市 直売所の役割: 出張販売の実施	③	直売所運営費 窓口機関: 添田町(商工業振興係)、道の駅遊舎ひこさん	
【地域の人口を増やす】 地域集落の定住や交流人口を増やす施策に関する事	施設や景観等を活用した交流人口の拡大	地域の交流者人口	15人/年	20人/年	出張販売等を活用した直売所アピールを実施 ターゲット: 北九州市、福岡市 直売所の役割: 直売所の宣伝	⑤	直売所運営費 窓口機関: 添田町(商工業振興係) 道の駅遊舎ひこさん	
	その他(具体的に)	HPの閲覧数	18000件/年	30000件/年	体験農園を活用した都市農村交流の実施 体験農園の運営 ターゲット: 町内及び近隣都市部住民 直売所の役割: 体験農園の情報発信	④⑤	添田町農業青年会 窓口機関: 添田町(農業振興係) 添田町農業青年会	

※1…施策の方向性にある「柱」と「項目」に記載している内容は修正しないで下さい。「項目」に該当するものが無い場合は、その他欄に項目名を追加して下さい。

※2…施策の方向性にある「将来像」の「内容」及び具体的な取り組みの「施策内容」に記載がある取組みについては、極力記載して下さい。

※3…直売所の機能は、別紙「将来ビジョンに掲げる直売所の機能一覧表」より該当する機能の番号を選んで記載して下さい。

3. 実施計画

施策内容	具体的な取り組み	1年目(平成27年度)		2年目(平成28年度)		3年目(平成29年度)		4年目(平成30年度)		5年目(平成31年度)		ポイント	
		上期(4~9月)	下期(10~3月)	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
農林業の効率的かつ継続的な体制の整備に関する事	・就農希望者等への支援 協議会事務局の添田町が、4つの町単独事業を実施し、新規就農者や後継者を確保する。	まち・ひと・しごと創生総合戦略における事業(添田町)										事業継続(添田町)	就農支援
	・集荷体制の整備 協議会構成団体の直売所が、地域の集出荷作業を実施し、地域の高齢農家等を支援する。	検討(協議会)		試験実施(協議会)		事業継続(直売所)						集荷バス構築	
農林業を中心とした地域産業による所得を増やす施策に関する事	・端境期に適した農産物の生産 協議会事務局の添田町が、端境期の新たな農産物の生産を地域農家に推奨し、生産体制を整備する。	試験実施(協議会)		事業継続(直売所、協議会)								端境期対策	
	・大都市圏での出張販売 協議会構成団体の直売所が、近隣の大都市圏へ出張販売に行き、販路を開拓する。	試験実施(協議会)		事業継続(直売所)								移動販売、販促グッズ	
地域集落の定住や交流人口を増やす施策に関する事	・体験農園を活用した都市農村交流 協議会構成団体の直売所が、青年団が主催する体験農園の情報発信し、交流人口の増加を支援する。	事業継続(農業青年会)										体験農園	
	・直売所HPによる情報発信 協議会構成団体の直売所が、地域イベントなどの情報をHPで発信し、交流人口の増加を支援する。	試験実施(協議会)		事業継続(直売所)								HPリニューアル	

※3…具体的な取り組みの「施策内容」は、「2. 施策の方向性及び具体的取り組み」の施策内容をそのまま転記して下さい。

(参考)現状の把握

地域の強み(よいところ)	地域の弱み(課題)
<ul style="list-style-type: none"> <li>立地的特性</li> <li>北九州市圏と近接</li> <li>農業</li> <li>土地の力、郷土の産物、清涼な水等、農業に恵まれた環境で作られる品質良く新鮮な農産物</li> <li>農林業の就業率が7.7%と全国平均の倍</li> <li>観光</li> <li>町内最大の入り込み客を誇る「遊舎ひこさん」の存在</li> <li>英彦山をはじめとした歴史・文化的価値、豊かな自然を活かした観光資源</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口</li> <li>人口の自然減、社会減(少子高齢化、10~20代の社会減)</li> <li>立地的特性</li> <li>公共交通の利便性の低さ</li> <li>山間部のアクセスの悪さ</li> <li>農業</li> <li>農業の高齢化、後継者不足による収量減少の懸念</li> <li>農家の増加</li> <li>直売所への来訪者、売上減少(特に1、2月)</li> <li>産業</li> <li>地域内の雇用の場不足</li> </ul>